

教員の研究活動 2009年4月～2010年3月



大学校長

[著書]

田村やよひ編(2009). 看護教員必携資料集. メヂカルフレンド社, 東京.

清水嘉与子, 矢野正子, 久常節子, 田村やよひ, 野村陽子(2009). 保助看法 60 年を振り返る～歴代厚生労働省看護課長による座談会～. 保健師助産師看護師法 60 年史～看護行政のあゆみと看護の発展～. 10-25, 日本看護協会出版会, 東京.

田村やよひ(2009). 准看護師制度を巡る取り組み. 保健師助産師看護師法 60 年史編纂委員会編集, 保健師助産師看護師法 60 年史～看護行政のあゆみと看護の発展～. 270-276, 日本看護協会出版会, 東京.

田村やよひ(2009). 進む大学教育と教員養成. 保健師助産師看護師法 60 年史編纂委員会編集, 保健師助産師看護師法 60 年史～看護行政のあゆみと看護の発展～. 292-301, 日本看護協会出版会, 東京.

[誌上発表]

田村やよひ, 野地有子(2010). 政策医療を支える国立看護大学校の教育. 現代のエスプリ 510 看護という営み. 47-52, ぎょうせい, 東京.

田村やよひ(2009). ウズベキスタン共和国看護教育改善プロジェクト終了時評価調査報告書. 独立行政法人国際協力機構ウズベキスタン事務所.

[研究助成および研究成果報告書]

石井トク, 江守陽子, 大室律子, 小山真理子, 佐藤正美, 城丸瑞恵, 谷山牧, 田村やよひ, 森千鶴, 佐藤禮子, 阿曾洋子(2010). 看護教育の教育環境に関する実態と質向上に資するための提言. 日本看護学教育学会.

[講演・学会発表]

大室律子, 小山真理子, 佐藤正美, 城丸瑞恵, 谷山牧, 田村やよひ, 森千鶴, 石井トク(2009). 看護学教育の教育環境に関する実態調査報告. 日本看護学教育学会第 19 回学術集会, 北見, 9 月.

田村やよひ(2009). 看護の視点から政策を作り動かす. 第 7 回国立病院看護研究学会学術集会, 清瀬, 12 月.

田村やよひ, 山田雅子, 馬場敦子, 泉谷裕則(2009). 「評価される看護の専門性に向けて」. 第 14 回日本看護サミット北海道' 09, 札幌, 10 月.

人間科学(情報学)

[研究助成および研究成果報告書]

柏木公一(2009). 国際医療用語集を日本語で利用するための知識ベースの開発. 平成 21 年度科学研究費補助金.

[講演・学会発表]

Kashiwagi, K., Uto, U., Miyo, K., & Tsuru, S.(2009). A feature of Nursing Information Systems in Japan. Asia Pacific Association for Medical Informatics, Kobe, Japan, November.

Kashiwagi, K. (2009). An Ontological Approach for translating the ICNP. 10th International Congress on Nursing Informatics, Helsinki, Finland, June.

古庄夏香, 黒田裕子, 森山敬子, 小田正枝, 林みよ子, 中木高夫, 山勢博彰, 柏木公一, 伊東美佐江(2009). 看護の質向上を目的した看護支援システムの機能と構造の探究 研究方法具体化のための予備調査. 日本看護研究学会雑誌, 32(3), 215.

柏木公一(2009). 新電子カルテシステムによるシミュレーション演習. 看護診断, 14(2), 115.

柏木公一(2009). これからの看護アウトカム評価. 病院設備, 51(5), 478.

人間科学(心理学)

[講演・学会発表]

鉅鹿健吉(2009). 援助のコミュニケーション. 第 25 回日本精神衛生学会, 清瀬, 11 月.

鉦鹿健吉(2009). 心を豊かにする関係性. 第25回日本精神衛生学会, 清瀬, 11月.

人間科学(語学)

[論文]

Matsuoka, R., Poole, G. (2010). The use of politeness strategies in Japanese healthcare settings: Analysis of manga discourse between healthcare providers and a “difficult” patient. *The Journal of Nursing Studies, National College of Nursing, Japan*, 9(1), 9-17.

Evans, D. (2010). Peer and self evaluation in spoken English: The views of first and second years in a nursing college. *The Journal of Nursing Studies, National College of Nursing, Japan*, 9(1), 28-36.

Matsuoka, R. (2009). Discourse analysis of encouragement in Japanese healthcare comic books. *JACET Summer Seminar Proceedings*, 26-34.

[著書]

Matsuoka, R. (2009). *Japanese college students' willingness to communicate in English*. Kohn, Germany: Lambert Academic Publishing.

松岡里枝子(2009). 看護大学の英語教育. アルク教育社編. 英語教育と e-learning. 48-50, アルク教育社, 東京.

[講演・学会発表]

Matsuoka, R. (2010). *Effect of conference participation on communication apprehension*. The 6th CamTESOL conference, Phnom Penh, Cambodia, February.

Matsuoka, R. (2009). *Discourse analysis of encouragement using Japanese healthcare related comic books*. The 1st World congress of Nursing Science Association, Kobe, Japan, September.

Matsuoka, R. (2009). *Discourse analysis of encouragement in Japanese healthcare comic books*. JACET Summer Seminar, Kusatsu, Japan, August.

Matsuoka, R. (2009). *Discourse analysis of encouragement using Japanese comics*. F2009 Conference of International Society of Language Studies, Florida, U.S.A., June.

人間科学(保健行政学)

[論文]

森山幹夫(2009). 看護法人制度の可能性についての考察. 国立看護大学校研究紀要, 8(1), 43-51.

森山幹夫(2009). 少子高齢化と医療保障政策, 日本大学総合研究報告書 2009 年号, 41-56, 2009.

[著書]

森山幹夫(2009). 法律と倫理. 日本染色体遺伝子検査学会編, 染色体遺伝子検査の分かりやすい説明ガイドライン普及版. 21-30, 日本染色体遺伝子検査学会, 東京.

森山幹夫(2010). 看護と法律. 新看護学(第5巻)専門基礎5. 131-230, 医学書院, 東京.

[誌上発表]

森山幹夫(2009). 日本の人口は減少. 保育界, 419, 28-29.

[研究助成および研究成果報告書]

森山幹夫(2010). 地域密着型医療における有床診療所の役割に関する研究(主任研究). 平成21年度厚生労働科学研究費補助金事業.

[講演・学会発表]

森山幹夫(2009). 社会福祉と更生保護の連携. 法務省法務総合研修所, 東京, 6月.

森山幹夫(2009). 地域で生きる. 全国肢体不自由児者親の会連合会関東ブロック大会, 千葉, 8月.

森山幹夫(2009). 染色体遺伝子検査情報の分かりやすい普及方法について. 日本染色体遺伝子検査学会, 久留米, 11月.

人間科学(生命科学)

[論文]

Takemura, R., & Hamamoto, Y. (2009). Side effects of molecularly targeted drugs and their molecular mechanisms. *Journal of Health Science*, 55(3), 338-346.

基礎看護学(看護基礎科学)

[論文]

森那美子(2009). 看護師の生物災害に対する準備性および継続教育に関する研究. 日本集団災害医学会誌, 14(2), 164-173.

[研究助成および研究成果報告書]

森那美子(2009). 看護師の生物災害に対する準備性および教育に関する研究. 平成 18-20 年度科学研究費補助金(若手研究(B)). 研究成果報告書.

森那美子(2009). 病院機能特性に応じた医療機関および看護師の生物災害対応に関する研究. 平成 21 年度科学研究費補助金(若手研究(B)). 研究成果報告書.

森那美子(2009). 医療関連感染防止におけるリンクナースの準備性および教育に関する研究. 平成 21 年度厚生労働省国際医療研究委託費.

切替照雄(主任研究員), 吉倉廣, 加藤はる, 荒川宣親, 大久保憲, 河野文夫, 西岡みどり, 網島優, 掛水智子, 吉田真由美, 菊池ひで子, 菊池喜博, 三木祐, 田中征雄, 原かおり, 富成伸次郎, 谷口美由紀, 陰下敏明, 吉田弘之, 岡本英利, 下川晃生, 岩井朝幸, 高須賀久美子, 佐藤穰, 加藤由紀恵, 佐野ありさ, 鬼塚聖子, 斉藤昭彦, 平松玉江, 八木哲也, 前川裕子, 益田洋子, 菅原美絵, 三浦祥子, 加藤康幸, 竹下望, 高崎仁, 森兼啓太, 藤田烈, 坂木晴世, 窪田志穂, 黒田恵美, 森那美子(研究協力). 医療機関における感染症伝播に関する研究, 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.

[講演・学会発表]

森那美子, 西岡みどり(2010). 医療関連感染防止におけるリンクナースの準備性および教育に関する検討. 第 25 回日本環境感染学会総会学術集会抄録, 367.

基礎看護学(基礎看護援助学)

[論文]

Kobayashi, H. (2009). Well-being and freedom of patients; comparison of nursing service between Sweden and Japan. *Report Series / Centre for Public Health, Umeå university*, 2009:29, ISSN: 1651-341X. 1-31.

[誌上発表]

小林秀行(2009). スウェーデンの大学における試験の実際; 科目・学生双方の信頼性認証の鍵. スウェーデン社会研究所所報, No347.

小林秀行(2009). 学生の議論と主体性を引き出すスウェーデンの大学環境. スウェーデン社会研究所所報, No346.

[研究助成および研究成果報告書]

Kobayashi, H. (2009). Dissipate isolation in Japan or open opportunity in Sweden? Nursing domains perceived by patients related to capability. 財団法人医療科学研究所第 17 回研究助成「看護サービスに対する患者の知覚の国際比較モデルの検討:日瑞 2 国間比較研究」. 研究成果報告書.

[講演・学会発表]

Kobayashi, H. (2009). *Patients uppfattning av omvårdnad på hjärtavdelning: Hjärtcentrum och japanska lika avdelningar*. Hjärtcentrum, Norrlandsuniversitetssjukhus, Umeå, Sweden, July.

Miyamoto, M., & Sato, R. (2009). *Family caregivers' perceptions regarding caring for residents with dementia in long-term care facilities in Japan*. The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Kobe, Japan, September.

松山友子(2009). 看護師の卒後研修制度への期待と課題; 新人看護師の研修制度に向けて 臨床と教育との連携強化への期待. 第 63 回国立病院総合医学会, 仙台, 10 月.

野元瑞穂, 松山友子(2009). わが国の看護師が実施する死後のケアの研究の現状と課題~2003 年から 2007 年の国内文献の分析を通して~. 第 7 回国立病院看護研究学会学術集会, 清瀬, 12 月.

今峰璃沙, 松山友子(2009). 看護師が捉える患者の『安楽』と実際の援助方法に関する文献検討~2003 年から 2007 年までの国内文献の分析を通して~. 第 7 回国立病院看護研究学会学術集会, 清瀬, 12 月.

小林秀行(2009). 患者にとっての看護の意義: 相違をもたらすのは文化か社会か? 日本・スウェーデン比較研究から. 第 29 回日本看護科学学会学術集会, 千葉市, 11 月.

能見清子, 水野正之, 小澤三枝子(2009). 看護職員対象の日本語版情緒的組織コミットメント尺度の検討. 第 29 回日本看護科学学会学術集会, 千葉市, 11 月.

能見清子, 水野正之, 小澤三枝子(2009). 看護職員の情緒的組織コミットメントの関連因子ー臨床経験年数別の分析ー. 第 29 回日本看護科学学会学術集会, 千葉市, 11 月.

能見清子, 小澤三枝子(2009). 看護職員の情緒的組織コミットメントの傾向ー政策医療を担う関東圏・急性期病院における調査

よりー。第7回国立病院看護研究会学術集会，清瀬，12月。

基礎看護学(看護教育学)

[論文]

中原博美，亀岡智美(2009)．新人看護師の職業的成熟度に関する研究ー現状及び関係する特性に焦点を当ててー．看護教育学研究，19(1)，21-34．

[著書]

亀岡智美(2009)．看護実践の卓越性自己評価尺度ー病棟看護師用ー．舟島なをみ監修．看護実践・教育のための測定用具ファイルー開発過程から活用の実際までー(第2版)．63-73，医学書院，東京．

亀岡智美(2009)．看護師目標達成行動尺度．舟島なをみ監修．看護実践・教育のための測定用具ファイルー開発過程から活用の実際までー(第2版)．74-85，医学書院，東京．

亀岡智美(2009)．Nursing Stress Scale(日本語版)．舟島なをみ監修．看護実践・教育のための測定用具ファイルー開発過程から活用の実際までー(第2版)．221-232，医学書院，東京．

亀岡智美(2009)．看護学教員ロールモデル行動自己評価尺度(英語版)．舟島なをみ監修．看護実践・教育のための測定用具ファイルー開発過程から活用の実際までー(第2版)．291-300，医学書院，東京．

[講演・学会発表]

Cox, K.S., Lacey, S., Messmer, P.R., Teasley, S.L., Kameoka, T., Yan, M., Yan, L., Gregg, M.F.(2009). *A Survey of Asian Nurses Perception of their Work Environment*. 40th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International, U.S.A.

Yamashita, N., Funashima, N., Murakami, M., Miura, H., Kameoka, T., Nakayama, T., Hongo, K., Hattori, M., Sugimori, M. (2009). *Comparison of Role Model Behaviors of Nursing Faculty Between BSN/ADN and Diploma Programs in Japan*. 40th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International, U.S.A.

Kameoka, T., Funashima, N., Zao, Q., Shufen, Y., Nomoto, Y., Miura, H., Nakayama, T., Hattori, M., Xie, D., Liu, W. (2009). *A Comparison of Quality of Teaching-Learning Process in Japan and China; Focusing on Nursing Lectures*. 第1回日中韓看護学会, 43-46, China.

Kameoka, T., Funashima, N., Ueda, T., Yokoyama, K., Nomoto, Y., Mochizuki, M., Sugimori, M. (2009). *Hospital Nurses' Self-Evaluation of their Excellence in Nursing Practice in Japan*. 20th International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International, Canada.

宮首由美子，亀岡智美(2009)．認定看護師の活動に関する研究の現状ー1997年から2008年までの文献の分析を通してー．第7回国立病院看護研究会学術集録集，91．

亀岡智美，舟島なをみ，上田貴子(2009)．病院に就業する看護師の看護実践の卓越性ー臨床経験年数との関係に焦点を当ててー．第29回日本看護科学学会学術集会講演集，420．

亀岡智美(2009)．「研究成果活用能力自己評価尺度ー臨床看護師用ー」開発の意義と展望．看護教育学研究，18(2)，24-25．

基礎看護学(看護管理学)

[論文]

Sakaki, H., Nishioka, M., Kanda, K., Takahashi, Y. (2009). An investigation of the risk factors for infection with methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* among patients in a neonatal intensive care unit. *American Journal of Infection Control*, 37(7), 580-586.

[著書]

小澤三枝子(2010)．リーダーシップ．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．p.2915-6，医学書院，東京．

小澤三枝子(2010)．状況的リーダーシップ．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．p.1430，医学書院，東京．

小澤三枝子(2010)．変革型リーダーシップ．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．p.2641-2，医学書院，東京．

小澤三枝子(2010)．交流型(取引型)リーダーシップ．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．p.1065-6，医学書院，東京．

小澤三枝子(2010)．PM理論．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．p.96，医学書院，東京．

西岡みどり(2010)．個体要因(属性)．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．1100．医学書院，東京．

西岡みどり(2010)．ボタン熱．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．2705-2706．医学書院，東京．

西岡みどり(2010)．発疹チフス．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．2709．医学書院，東京．

西岡みどり(2010)．末期感染．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．2738．医学書院，東京．

西岡みどり(2010)．マールブルグ病．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．2725．医学書院，東京．

西岡みどり(2010)．手洗い．和田攻，南裕子，小峰光博編，看護大事典(第2版)．2040．医学書院，東京．

西岡みどり(2009). 6. 感染予防の看護技術. 竹尾恵子監修, 看護技術プラクティス(第2版). 88-114. 学研メディカル秀潤社, 東京.

[誌上発表]

西岡みどり(2009). 中小病院のサーベイランスはどうあるべきか. 感染と消毒, 16(2), 138-142.

西岡みどり(2009). 日米の SSI 国家サーベイランスとその現状. 感染対策 ICT ジャーナル, 4(4), 419-422.

[研究助成および研究成果報告書]

西岡みどり(2009). 病院施設の規模別の感染対策の実態調査(分担研究). 医療機関における感染症伝播に関する研究(主任研究者: 切替照雄). 平成21年度厚生労働科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.

西岡みどり(2009). 分担研究報告書, 病院施設の規模別の感染対策の実態調査(分担研究). 医療機関における感染症伝播に関する研究(主任研究者: 切替照雄). 平成20年度厚生労働科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.

[講演・学会発表]

Mizuno, M., Kinoshita, Y., Nishioka, M. (2009). *Backrest elevation for the prevention of ventilator-associated pneumonia in ICUs in Japan*. The 8th East Asian Conference on Infection Control and Prevention, Tokyo, Japan, November.

浦中桂一, 小澤三枝子(2010). 男性看護師の葛藤や困難に関する文献検討. 第7回国立病院看護研究学会学術集会, 清瀬, 12月.

西岡みどり, 水野正之, 木下佳子(2009). ICUにおける人工呼吸器関連肺炎(VAP)防止に関する実態調査. 大磯フォーラム感染防止と医療器材を考える会第15回研究フォーラム平成20年度分科会研究発表, 東京, 4月.

西岡みどり(2009). SSIサーベイランスとフィードバック. 第2回東北感染制御フォーラム, 東京, 8月.

西岡みどり, 水野正之, 木下佳子(2010). 集中治療室における人工呼吸器関連肺炎 ventilator-associated pneumonia(VAP)防止に関する実態調査. 第25回日本環境感染学会総会, 東京, 2月.

平松玉江, 烏田香織, 西岡みどり(2010). 食道癌手術患者における外来看護師によるケアバンドルを用いた術前介入の術後肺炎防止効果. 第25回日本環境感染学会総会, 東京, 2月.

沼直美, 和田典子, 石田康子, 西岡みどり(2010). 同種造血幹細胞移植患者における中心静脈カテーテル由来血流感染発生のリスク因子の探索. 第25回日本環境感染学会総会, 東京, 2月.

成人看護学

[論文]

Fujisawa, D., Park, S., Kimura, R., Suyama, I., Koyama, Y., Takeuchi, M., Yoshikawa, H., Hashiguchi, S., Shirahase, J., Kato, M., Takeda, J., & Kashima, H. (2009). Unmet supportive needs of cancer patients in an acute care hospital in Japan: A census study. *Supportive Care in Cancer*, Published online October 21, 2009, DOI:10.1007/s00520-009-0761-9.

外崎明子, 佐藤正美, 今泉郷子, 小泉佳右, 高橋恵子(2009). がんサバイバーの健康生成のための運動プログラムの開発—文献レビュー—. 日本がん看護学会誌, 23(1), 3-20.

酒井郁子, 湯浅美千代, 島田広美, 末永由理, 遠藤淑美, 綿貫成明, 杉田由加里, 山本雅子, 染谷さち代, 広瀬穂積, 吉本照子, 周宇形 (2010). 脳卒中患者の自我発達を促進する看護援助理論を用いた看護師学習プログラムの開発と評価. 文化看護学会誌, 2(1), 27-39.

[著書]

Watanuki, S., Tracy, M. F., Lindquist, R. (2009). *Therapeutic listening*. In M., Snyder, & R., Lindquist (Eds.), *Complementary and alternative therapies in nursing* (6th ed., pp. 47-59). New York: Springer.

[誌上発表]

久部洋子(2009). 医療人の育成を考える 看護師の卒後教育の現状と課題—臨床現場で活躍する専門看護師・認定看護師の育成—. 日本病院会雑誌, 56(11), 1285-1292.

綿貫成明, 大町弥生, 辻村史子, 伊藤良子, 中山由美, 宮地真澄, 平木尚美, 表澄子(2010). 成人看護学実習および老年看護学実習において看護学生が見学または実施した看護基本技術の実態—学生による自己評価調査の分析より—. 藍野学院紀要, 22, 101-115.

[研究助成および研究成果報告書]

小山友里江(2010). リウマチ患者の手術療法前後の Quality of Life に関する研究. ストライカー整形外科看護研究助成金制度報告書.

外崎明子(研究代表者), 佐藤正美, 小泉佳右, 七澤朱音(連携研究者)(2010). がんサバイバーの身体活力回復プログラムの構築と評価研究. 平成20-24年度科学研究費補助金(基盤研究(B)).

[講演・学会発表]

Iino, K. (2009). Educational evaluation of a cancer nursing education. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy*

of Nursing Science: Program and Abstracts, 202.

- Koyama, Y. (2009). The experiences of living with rheumatoid arthritis and surgeries: A descriptive qualitative study. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science: Program and Abstracts*, 241.
- Sakai, I., Watanuki, S., Torita, M., Kawasaki, M., Matsukawa, K. (2009). Nurses' assessment and interventions for adult and elderly post-operative patients who are at high-risk for developing or presently experiencing acute confusion. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science: Program and Abstracts*, 238.
- Tonosaki, A., Inoshita, K., Motoi T., Araki, M., Ogami, Y., Kondo, S. (2009). Recent research trends and issues in hematopoietic stem cell transplantation nursing in Japan: Reviewing a decade of published research. *The 3rd AASCT Nurses Symposium 10 Years Anniversary of Korean Blood and Marrow Transplant Nurses Society*, 11(1), 21-25.
- Watanuki, S., Sakai, I., Torita, M., Kawasaki, M., Matsukawa, K. (2009). Patterns and risk factors of acute confusion among adult and elderly patients undergoing general surgeries at a university hospital. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science: Program and Abstracts*, 237.
- Iino, K., Koyama, Y., Watanuki, S., Sueyoshi, M., Suzuki, C., Kato, Y., Nishikimi, N., Chikamasa, A., Suhara, Y., Hisabe, Y. (2010). Communication skills of students training in cancer nursing in Japan. *The 16th International Conference on Cancer Nursing: Abstract Book*, 123.
- Koyama, Y., Watanuki, S., Iino, K. (2010). Emotional feelings with metastatic spinal cord compression among long-term survival cancer patients. *The 16th International Conference on Cancer Nursing: Abstract Book*, 131.
- Tonosaki, A. (2010). Changes and issues in nursing care for hematopoietic stem cell transplantation in Japan based on a review of research from 1999-2009. *The 36th Annual Meeting of the European group for Blood and Marrow Transplantation 26th Meeting of the EBMT Nurses Group, Abstract Book*, 1205.
- Watanuki, S., Iino, K., Okamoto, T. (2010). Association between adverse events and adherence of patients with gastric cancer who underwent gastrectomy and adjuvant chemotherapy with an oral fluoropyrimidine (S-1). *The 16th International Conference on Cancer Nursing: Abstract Book*, 119.
- 不破理映, 遠藤晶子, 飯野京子(2009). ペグインターフェロンとリバビリン併用療法を受ける C 型慢性肝炎患者が治療開始に至るプロセス. *日本慢性看護学会誌*, 3(1), A51.
- 船生昌美, 近政彩子, 久部洋子, 小山友里江, 和田徳昭, 酒村智子, 向井博文, 向原徹(2009). 乳がん術後リンパ浮腫に対する患者自身による複合的理学療法の効果. *日本乳癌学会総会プログラム抄録集* 17 回, 281.
- 辻哲也, 田沼明, 吉原広和, 増田芳之, 岡山太郎, 石井健, 安部能成, 田尻寿子, 安藤牧子, 栗原美穂, 飯野京子, 石川愛子, 松本真以子(2009). コ・メディカル教育—がんのリハビリテーションに関する教育研修の取り組み. *日本癌治療学会誌*, 44(2), 333.
- 西堀光重, 河村知代, 濱田佑美, 小山友里江(2009). 電子カルテ導入に対する S 病院看護師の負担感に関する検討. 第 40 回日本看護学会抄録集看護管理, 341.
- 須賀一恵, 綿貫成明(2009). 領域別看護学実習中における看護学生のストレスとコーピング—フォーカス・グループインタビューを通して. 第 7 回国立病院看護研究会学会学術集會集録集, 49.
- 村松夕妃, 遠藤晶子(2009). 虚血性心疾患患者の復職の現状・看護に関する文献検討. 第 7 回国立病院看護研究会学会学術集會集録集, 65.
- 栗原美佳, 小山友里江, 石井智香子(2009). 階段昇段中の小休止の取り方の違いが心拍数に及ぼす影響. 第 7 回国立病院看護研究会学会学術集會集録集, 66.
- 久部洋子, 飯野京子, 小山友里江, 加藤陽子, 錦見直子, 末吉真由美, 鈴木慈子(2009). 看護基礎教育におけるがん看護学教育の実際. 第 7 回国立病院看護研究会学会学術集會集録集, 100.
- 遠藤晶子, 綿貫成明, 石井智香子, 時廣亜希子, 應武園子(2009). 政策医療における「呼吸循環ケア」の教育の現状と今後の課題. 第 7 回国立病院看護研究会学会学術集會集録集, 101.
- 岡本隆行, 飯野京子, 綿貫成明(2009). S-1 による術後補助化学療法を受ける胃がん患者の困難の分析. 第 7 回国立病院看護研究会学会学術集會集録集, 138.
- 飯野京子, 小山友里江, 小西敏子, 丸口ミサエ(2009). 高齢者がん患者のターミナルケアにおける問題点に関する研究—山間へき地におけるがん終末期患者の緩和ケア体制、鎮痛薬の使用の実際. 第 7 回国立病院看護研究会学会学術集會集録集, 140.
- 綿貫成明(2009). 日本の組織文化におけるワーク・ライフ・バランスとキャリアデザイン(リレー講演)—仕事役割と私生活役割のヘルシー・バランスの模索. 第 29 回日本看護科学学会学術集會講演集, 144.
- 小山友里江(2009). 転移性脊椎腫瘍で手術療法を受けた患者の不安に関する研究. 第 29 回日本看護科学学会学術集會講演集, 201.
- 丸口ミサエ, 小西敏子, 飯野京子, 小山友里江, 上原ます子(2010). 山間へき地におけるがん終末期患者の緩和ケアおよびがん性疼痛緩和の現状. 第 24 回日本がん看護学会学術集會講演集, 24, 191.

- 磯野寿美枝, 小山友里江(2010). 外来で化学療法を受ける女性乳がん患者へのメイクケアの効果. 第24回日本がん看護学会学術集会講演集, 24, 92.
- 岡本隆行, 飯野京子, 綿貫成明(2010). S-1による術後補助化学療法を受けるⅡ・Ⅲ期胃がん患者の困難への対処. 第24回日本がん看護学会学術集会講演集, 24, 209.
- 野崎悦代, 小山友里江, 石井智香子(2010). 拡張型心筋症を基礎疾患にもつ慢性心不全患者の療養行動の実態. 第74回日本循環器学会総会・学術集会講演集, 144.
- 山岸暁美, 久部洋子, 山田雅子(2009). 「在宅の視点のある病棟看護尺度」の開発. 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, 489.

成育看護学(小児看護学)

[論文]

- 遠藤数江, 小川純子, 中村伸枝, 小俣智子, 佐藤奈保(2010). 小児がん経験者における日常生活の実際と踵骨の骨梁面積率に関連する要因の検討. 国立看護大学校研究紀要, 9(1), 1-8.
- 松下ゆかり, 井比舞子, 伊藤龍子(2010). 手術や検査を受ける思春期早期にある患者の意思表明のための看護. 国立看護大学校研究紀要, 9(1), 18-27.
- 中村伸枝, 遠藤数江, 出野慶子, 荒木暁子, 佐藤奈保, 沖奈津子, 三瀬尚子, 小川純子, 金丸友(2010). 子育て支援センターを利用する母親の生活習慣・BMI・骨量と幼児の生活習慣. 千葉大学看護学部紀要, 32, 1-5.

[著書]

- 伊藤龍子, 矢作尚久編著(2010). 小児救急トリアージテキスト. 医歯薬出版株式会社, 東京.

[誌上発表]

- 伊藤龍子(2009). 小児救急医療におけるトリアージシステムの動向. こどもケア, 4(1), 94-100.
- 来生奈巳子(2009). 実践に活かせる子ども虐待防止対策. 小児看護, 32(5), 544-550.
- 来生奈巳子(2009). 行政機関との連携に必要な法制度の知識. 小児看護, 32(7), 970-980.
- 来生奈巳子(2009). こんにちは赤ちゃん事業と養育支援訪問事業. 子どもの虐待とネグレクト, 11(3), 313-321.

[研究助成および研究成果報告書]

- 伊藤龍子, 加藤忠明(2010). 有機酸・脂肪酸代謝異常症患者家族と医師とのグループインタビュー. 平成21年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「新生児マススクリーニングの臨床的効果に関する研究」分担研究報告書.
- 伊藤龍子(2010). 小児看護の観点から一医師、看護師、ご遺族・ご家族のグループインタビュー. 平成21年度成育医療委託研究事業「小児における看取りの医療に関する研究」実績報告書.
- 伊藤龍子(2010). 延命治療に関する質問紙調査の自由記述の分析. 平成21年度成育医療委託研究事業「小児における看取りの医療に関する研究」実績報告書.
- 伊藤龍子(2010). 小児看護の視点からの提言. 平成21年度成育医療委託研究事業「超重症児の在宅医療における地域資源開発」実績報告書.
- 佐藤拓代, 上野昌江, 山田和子, 来生奈巳子, 毛受子, 秋末珠実, 鈴木信恵, 露詰公子, 桑田俊子(2010). 妊娠・出産・育児期の要支援家庭への訪問指導のあり方に関する研究(分担研究). 医療ネグレクトにおける医療・福祉・司法が連携した対応のあり方に関する研究(主任研究者; 宮本信也). 平成21年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(H21-政策-一般-003)総括・分担研究報告書.
- 中村伸枝(研究代表者), 荒木暁子, 佐藤奈保, 遠藤数江, 小川純子, 金丸友, 沖奈津子, 三瀬尚子, 出野慶子, 御園愛子(2010). 母親の健康への関心を高め生活習慣改善を促す支援が, 幼児の生活習慣に与える影響. 平成18年度～平成21年度科学研究費補助金(基盤研究(C)). 研究成果報告書.

[講演・学会発表]

- 伊藤龍子, 林幸子(2009). 「講義」+「ペーパーシミュレーション」で学ぶ. 小児救急医療におけるトリアージ. 日総研グループ/日総研出版, 東京, 4月. 名古屋, 5月.
- 伊藤龍子(2009). 小児救急医療におけるトリアージ. 第8回北陸小児救急・集中治療研究会, 石川, 11月.
- 伊藤龍子(2010). 小児医療における看護の立場と意思決定. 第7回日本小児科学会倫理委員会フォーラム「これからの小児医療と意思決定」シンポジウム, 東京, 3月.
- 来生奈巳子, 西田志穂(2009). 交流セッション児童虐待防止と小児看護. 第19回日本小児看護学会学術集会, 札幌, 7月.
- 来生奈巳子(2009). シンポジウム医療依存度の高い子どもの「生活の質」を保証する支援; 小児在宅医療の課題と今後, 第19回日本小児看護学会学術集会, 札幌, 7月.
- 福田清香, 小穴慎二, 阪井裕一, 賀藤均, 伊藤秀一, 齋藤昭彦, 阿部淳, 伊藤龍子(2009). 解熱後も症状が遷延した13症例の報

- 告. 第 24 回関東川崎病研究会, 東京, 6 月.
- 宮本圭奈美, 西海真理, 伊藤龍子(2009). 在宅自己導尿患児の就学時の管理に向けた就学前支援のあり方. 第 19 回日本小児看護学会, 北海道, 7 月.
- 松原夏苗, 伊藤龍子(2009). 化学療法を行っている患児と家族への外泊指導の検討. 第 41 回日本看護学会. 小児看護, 高知, 9 月.
- 麻下恵理, 田中なを子, 青木雅, 遠藤真理, 伊藤龍子(2009). 先天性股関節脱臼患児の在宅大矢式牽引療法導入の家族指導. 3 症例を振り返って. 第 41 回日本看護学会. 小児看護, 高知, 9 月.
- 緒方志穂, 林和美, 宮本圭奈美, 村山由里子, 玉城久美子, 西海真理, 伊藤秀一, 伊藤龍子(2009). 血液透析を受ける子どもと家族への支援. 乳幼児期の成長発達に合わせた環境への配慮. 第 31 回日本小児腎不全学会, 新潟, 10 月.
- 福田清香, 植松悟子, 阪井裕一, 伊藤龍子(2009). 小児救急医療における救急搬送の実態. 第 56 回日本小児保健学会, 大阪, 10 月.
- 西海真理, 伊藤知亜紀, 伊藤龍子(2009). 新生児の適切なスキンケア普及のための教材開発. 第 56 回日本小児保健学会, 大阪, 10 月.
- 中村伸枝, 佐藤奈保, 出野慶子, 金丸友, 遠藤敦江, 荒木暁子, 小川純子(2009). 子育て支援センターを利用する幼児をもつ母親の生活習慣・BMI・骨量と、幼児の食習慣・肥満度. 第 56 回日本小児保健学会, 大阪, 10 月.
- 徳山奈美, 萩原絵里, 丸本幸枝, 伊藤龍子(2009). 超低出生体重児における経鼻的陽圧管理時の固定方法の検討. 第 19 回日本新生児看護学会, 神奈川, 11 月.

成育看護学(母性看護学)

[誌上発表]

中田かおり, 江藤宏美, 片岡弥恵子, 八重ゆかり, 堀内成子, 松本直子(2010). 妊婦の水分摂取は、羊水量の増加と関係があるか? ペリネイタルケア, 29(3), 64-67.

[講演・学会発表]

- 岩田裕美, 森岡由起子(2009). 日本版 I FEEL Pictures : 産後の母親の抑うつ状態と反応特性について. 日本心理学会ワークショップ, 日本版 I FEEL Pictures 研究: 諸領域での臨床的応用, 京都, 8 月.
- 酒井未央, 佐々木和子(2009). 子どもがいる続発性不妊症女性の治療過程における体験. 第 7 回日本生殖看護学会学術集会, 三重, 9 月.
- 小谷真知子, 佐々木和子, 真島愛子, 山内愛, 中田かおり, 小松契(2010). 硬膜外麻酔による無痛分娩を予定している妊娠後期の女性 —背景—. 第 24 回日本助産学会学術集会, 茨城, 3 月.
- 山内愛, 佐々木和子, 小谷真知子, 真島愛子, 中田かおり, 小松契(2010). 硬膜外麻酔による無痛分娩を予定している妊娠後期の女性 —出産に対するイメージ—. 第 24 回日本助産学会学術集会, 茨城, 3 月.
- 佐々木和子, 真島愛子, 中田かおり, 山内愛, 小谷真知子, 小松契(2010). 硬膜外麻酔による無痛分娩を予定している妊娠後期の女性 —愛着・母性の心理状態—. 第 24 回日本助産学会学術集会, 茨城, 3 月.
- 橋本麻由美, 佐々木和子(2010). WHO の勧告と女性の満足度調査から見た正常分娩ケアの検討. 第 24 回日本助産学会学術集会, 茨城, 3 月.

精神看護学

[論文]

山口朝子, 天谷真奈美, 関根正(2009). 精神疾患患者が認識するよい看護に関する研究. 第 39 回日本看護学会論文集(精神看護), 24-26.

[著書]

- 天谷真奈美(2010). 高齢者と心の健康. 吉松和哉, 小泉典章, 川野雅資編, 精神看護学 I 精神保健学. 175-181, ヌーヴェルヒロカワ, 東京.
- 阿部由香(2009). 口頭発表. 松本孚, 森田夏実 編集, 新版 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方. 126-132, 照林社, 東京.
- 阿部由香(2009). 精神看護のケーススタディ(1)うつ病性障害のある患者. 松本孚, 森田夏実 編集, 新版 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方. 221-232, 照林社, 東京.

[研究助成および研究成果報告書]

天谷真奈美, 鈴木麻揚(2009). 精神障害者の社会参加効力感尺度簡易版の開発と日米間比較. 平成 21 年度科学研究費補助金事業.

鈴木麻揚, 天谷真奈美, 柴田文江(2009). 精神障害者社会参加効力感尺度の関連因子の検討. 21年度木村看護教育振興財団看護研究助成.

[講演・学会発表]

Amagai, M., Suzuki, M., Itayama, M., & Shibata, F.(2010). *The social participatory processes of schizophrenic people and their influencing factors*. The Joint Scientific Meeting of IEA Western Pacific Region, Saitama, Japan, January.

天谷真奈美, 高橋万紀子, 田中留伊, 阿部由香, 板山稔, 本部薫(2009). メンタルヘルス活動における地域住民ボランティアを主体とした地域づくりの効果. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 10月.

天谷真奈美, 阿部由香, 本部薫, 板山稔, 田中留伊(2009). 地域で精神保健活動を協働する在宅精神障害者と精神保健ボランティアの意識. 第7回国立病院看護研究会学術集会, 清瀬, 12月.

榎藤真由美, 天谷真奈美, 板山稔(2009). 統合失調症患者の禁煙認識と禁煙阻害因子. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 10月.

板山稔, 高橋万紀子, 田中留伊, 阿部由香, 本部薫, 天谷真奈美(2009). 地域住民ボランティアとともに精神保健活動を行うことによる精神障害者の認識の変化. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 10月.

田中留伊, 板山稔, 森千鶴(2009). 薬物関連精神疾患治療病棟に勤務する看護師のストレスとバーンアウトに関する研究. 日本看護研究会誌, 32(3), 342.

田中留伊, 板山稔(2009). 薬物関連精神疾患治療病棟に勤務する看護師のストレスとバーンアウトの現状. 日本アディクション看護学会第8回学術大会, 埼玉, 11月.

田中留伊, 板山稔, 阿部由香, 本部薫, 天谷真奈美(2009). 精神科病棟に勤務する看護師のストレスとバーンアウトに関する研究. 第7回国立病院看護研究会学術集会, 清瀬, 12月.

松岡和沙, 板山稔, 田中留伊(2009). 医療観察法で働く看護師の配偶者の感情に関する研究. 日本看護研究会誌, 32(3), 343.

山川友里亜, 板山稔, 田中留伊(2009). 精神科新人看護師が体験した暴力とそれに対する対処および受容過程. 日本看護研究会誌, 32(3), 343.

細谷和夫, 堀部泰治, 若林幸久, 小出浩史, 笠原智樹, 小林佳恵子, 関幸司, 石崎有希, 岩崎富子, 田中留伊(2009). 精神科における包括的暴力防止プログラム研修導入の試みー研修導入前後の暴力に対する看護師の意識の変化ー. 第63回国立病院総合医学会, 仙台, 10月.

中井川尚子, 山中守, 山田哲, 乗田朋英, 清水清子, 田中留伊(2009). 精神科看護師のストレスの要因と職場適応. 第7回国立病院看護研究会学術集会, 清瀬, 12月.

荒木京子, 田中留伊(2009). 大学生の飲酒行動と親の飲酒行動に関する研究. 第7回国立病院看護研究会学術集会, 清瀬, 12月.

阿部由香(2010). 精神障害者通所授産施設利用者の疾患に関する自己管理の認識とその支援. 第20回日本医学看護学教育学会学術学会, 出雲, 3月.

橋本(太田)晶乃, 本部薫, 阿部由香(2010). ペアレントトレーニングに関する文献的考察を通して看護における患児への関わり方、および、病院・地域での活用を考える. 第20回日本医学看護学教育学会学術学会, 出雲, 3月.

菅谷智一, 阿部由香(2009). 登山における心理的影響とそれに関連する因子 -青年登山愛好家を対象とした面接調査-. 第68回日本公衆衛生学会, 奈良, 10月.

老年・在宅看護学(老年看護学)

[論文]

伊藤豊美, 住垣千恵子, 後藤友美, 岩崎孝子, 林稚佳子(2010). 老年看護学実習における看護学生の高齢者に対するイメージの変化. 国立看護大学校研究紀要, 9(1), 37-42.

[講演・学会発表]

福島千春, 林稚佳子(2009). 高齢者の経管栄養に対する看護師の認識ー高齢者の食事への思いに寄り添う. 第7回国立病院看護研究会学術集会, 清瀬, 12月.

伊藤豊美, 住垣千恵子, 後藤友美, 岩崎孝子, 林稚佳子(2009). 老年看護学実習における看護学生の高齢者に対するイメージの変化. 第7回国立病院看護研究会学術集会, 清瀬, 12月.

鈴木未来, 三笠里香(2009). 不眠改善を目的として行うアロマセラピーの効果的な方法の検討. 第7回国立病院看護研究会学術集会, 清瀬, 12月.

老年・在宅看護学(在宅看護学)

[研究助成および研究成果報告書]

平野かよ子, 斉藤真理子, 成木弘子, 中板育美, 泉峰子, 俵麻紀他(2009). 保健師の活動方法の明確化と継承方法の開発(分担事業者; 平野かよ子). 平成 21 年度地域保健総合推進事業.

[講演・学会発表]

山名栄子, 岡美智代, 佐川美枝子(2009). 透析自己管理教育の高度専門看護実践アルゴリズムに関する研究. 第 35 回日本看護研究学会学術集会, 横浜, 8 月.

国際看護学

[論文]

野中(杉本)千春, 樋口まち子(2010). 在日外国人患者と看護師との関係構築プロセスに関する研究. 国際保健医療, 25(1), 21-32.

樋口まち子(2009). スリランカにおけるプライマリ・ヘルスケア看護の立場から. 国際保健医療, 10(23), 54-55.

樋口まち子(2009). タイ国東北部地域における高齢者の伝統的健康行動. 国際保健医療, (24)2, 87-95.

[誌上发表]

樋口まち子(2009). 「国際看護授業案作成」についての国際看護教育コース. 国際看護, 9, 1-2.

清水真由美(2010). 開発援助プロジェクトの光と影. 開発分野の教育と研修のための事例教材 平成 20・21 年度 ケース・ライティング研修 作成ケース集. 67-76, (財)国際開発高等教育機構(FASID), 東京.

清水真由美(2010). 開発援助プロジェクトの光と影 ティーチング・ノート(指導要領). 開発分野の教育と研修のための事例教材 平成 20・21 年度 ケース・ライティング研修 作成ケース集用 ティーチング・ノート(指導要領). 31-34, (財)国際開発高等教育機構(FASID), 東京.

[研究助成および研究成果報告書]

樋口まち子(2010). 開発途上国の PHC における看護教育の効果に関する研究(主任研究). 平成 21 年度厚生労働省国際医療協力研究委託事業.

樋口まち子(2010). 発展途上国の看護職等人材養成及び看護サービスの実態調査(分担研究). 平成 21 年度厚生労働省国際医療協力研究委託事業.

清水真由美(2010). セネガル共和国の PHC における母子保健サービスに関する研究(分担研究). 平成 21 年度厚生労働省国際医療協力研究委託事業.

[講演・学会発表]

Sudo, K.(2009). *Comparison of Thai and Japanese mothers' perception of the health status of their young children with asthma symptom*. The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Kobe, Japan, September.

肥後恵美子, 樋口まち子(2009). II 型糖尿病患者 A 氏の食べることの意味の記述—食べることのライフスタイルとその解釈—. 日本地域看護学会, 千葉, 8 月.

高城智圭, 金子仁子, 標美奈子, 須藤恭子, 加藤敦子, 中島健一郎他(2009). 乳幼児虐待発生予防のための保健師と研究者との協働事例検討会(その 1・A 市). 第 68 回日本公衆衛生学会, 奈良, 10 月.

玉水里美, 江口晶子, 三輪眞知子, 岩清水伴美, 高城智圭, 金子仁子, 標美奈子, 須藤恭子他(2009). 乳幼児虐待発生予防のための保健師と研究者との協働事例検討会(その 2・B 市). 第 68 回日本公衆衛生学会, 奈良, 10 月.

須藤恭子, 樋口まち子, 清水真由美(2009). 国立看護大学校における国際看護学実習の実績. 第 7 回国立病院看護研究学会, 清瀬, 12 月.